

# すくのびくらぶ

## 【設立経緯】

2011年9月(東日本大震災と原発事故から半年後)に、外遊びができない市内の子どもたちや避難移住した親子のために、いわきNPOセンターとイトーヨーカドー平店が協力し、日中の避難を受け入れ、簡易広場を設置したことから始まる。避難生活のストレスや原発不安に負けずにとことん遊べるようにと願い「とことん広場」と名づけられ、年間のべ2万5千人超の親子から親しまれた。それから3年後、地域住民とイトーヨーカドー平店から、専門性ある広場対応の要請があり、2014年9月、子育て支援任意団体として「すくのびくらぶ」代表 前澤由美(スタッフ10名)が結成された。

2015年1月、フクシマスンプロジェクト(セーブ・ザ・チルドレン×サントリー助成)に採択されたことを期に、広場運営がすくのびくらぶに移管された。当時のスタッフには保育士がいなかったため、イベントや子育て相談などは、外部の講師が中心だった。

2016年1月、東日本大震災 JT 現地NPO応援基金に採択され、保育士資格取得勉強会(毎月1~2回)を開始し保育士も募集した。それまで広場利用は、未就学児の親子が対象であったが、小学生をはじめ高齢者や地域住民の入場を歓迎して、**多世代交流の広場・人材育成をする広場**とした。広場名と運営団体名が分かりやすいよう統一の要望があり、「とことん広場」⇒「すくのび広場」に改めた。

当基金に3年間採択されたことで、今では保育士10人、看護師5人、支援員2人ほか、助産師・管理栄養士・歯科衛生士・ヨガ講師など、多職種・多団体とも連携する広場に成長できた。

## 【背景】

いわき市は多くの避難者・移住者が不安を抱えていた。心身の健康や子育てに対する「専門性ある広場」への強い要望。高齢者や障がい児、単身者などが孤立し、情報が届かない。原発問題が未解決(低線量の内部被ばく・安全に帰還できるか)。地域が分断・区分けされ、住民同士のコミュニケーションが乏しい。

## 【目標】

原発問題など不安への払しょく  
健康支援と情報の提供  
引きこもりがちな家庭のコミュニティ再生  
子どもの健全な発育発達を支援  
親子・支援者・地域みんなが共に成長

- ⇒ 人が集まる駅前広場の継続、情報提供と相談対応
- ⇒ 広場に専門性を取り入れ、スキルの高い人材を育成
- ⇒ 安心・笑顔・学び・喜びの「場所」と「機会」を提供
- ⇒ 地域団体・企業・公的機関との協力連携の構築
- ⇒ 被災者移住者と共に、支え合い・助け合い・育て愛

## 目指していること ミッション/ビジョン

- ☆広場の運営を通じ、被災した親子の健全な成長を支援  
(心身のケアを含む支援)
- ☆学びの機会と場を提供し、地域の専門性高い人材の育成  
(地域力・家庭力の向上)
- ☆コミュニティの再生、地域団体・企業・公的機関が協力連携  
(復興促進の協働事業へ)



## 【すくのび広場カレンダー】 → 毎月発行 1,500枚 (A4 裏表)

毎月1回の定休日(主に第1月曜)と、遊具の点検・清掃・消毒、スタッフ研修を実施。毎月カレンダーを発行し、開催するイベントをHPでも紹介した。イベント担当スタッフの似顔絵や説明を入れて、保育士や専門講師にいつでも相談できるようにした。裏面は、高齢者(男女とも)に人気となり、発行を心待ちにしている地域住民が増えた。

平成30年 すくのび広場 2月カレンダー  
広場 開放時間 10:00~17:00  
平日・土曜日のみ開催。月曜日の場合は休場(祝日を除く)

イトーヨーカドー平店 4階

「いわき市医療センター」12月25日開院!

12月カレンダー裏面

「いわき市医療センター」12月25日開院!

12月カレンダー裏面

3月の広場イベント  
3月5日(月) 次月4月9日(月)

季節の工作  
2月は「春の準備」の工作です。3月は「春の準備」の工作です。4月は「春の準備」の工作です。

小物作り  
小物は、ちろんでも作る事ができます。今年1月は「春の準備」の工作です。2月は「春の準備」の工作です。3月は「春の準備」の工作です。

マママシンのご案内 → 2/6(火)、13(火)、20(火) 毎月1回開催します。おうちから広場へお出かけが簡単です。20日は、親子の心を、年齢問わず16:00に開催します。2名以上、常時予約制です。お申し込みの必要はありません。お問い合わせ先は、お申し込みの必要はありません。お問い合わせ先は、お申し込みの必要はありません。

高学年の子どものための活動  
高学年の子どものための活動。高学年の子どものための活動。高学年の子どものための活動。

高齢者のための活動  
高齢者のための活動。高齢者のための活動。高齢者のための活動。

お問い合わせ先  
TEL 080-6055-1098 FAX 0246-84-9239

イトーヨーカドー平店 4階

「いわき市医療センター」12月25日開院!

12月カレンダー裏面

「いわき市医療センター」12月25日開院!

12月カレンダー裏面

3月の広場イベント  
3月5日(月) 次月4月9日(月)

季節の工作  
2月は「春の準備」の工作です。3月は「春の準備」の工作です。4月は「春の準備」の工作です。

小物作り  
小物は、ちろんでも作る事ができます。今年1月は「春の準備」の工作です。2月は「春の準備」の工作です。3月は「春の準備」の工作です。

マママシンのご案内 → 2/6(火)、13(火)、20(火) 毎月1回開催します。おうちから広場へお出かけが簡単です。20日は、親子の心を、年齢問わず16:00に開催します。2名以上、常時予約制です。お申し込みの必要はありません。お問い合わせ先は、お申し込みの必要はありません。お問い合わせ先は、お申し込みの必要はありません。

高学年の子どものための活動  
高学年の子どものための活動。高学年の子どものための活動。高学年の子どものための活動。

高齢者のための活動  
高齢者のための活動。高齢者のための活動。高齢者のための活動。

お問い合わせ先  
TEL 080-6055-1098 FAX 0246-84-9239

## 【保育士資格取得勉強会】

2016年3月から、募集・スタートした。2016年末まで 保育士試験合格者1名、2017年5名、2018年6名、合計12名、保育士資格取得者を輩出できた。

平成28年度 保育士資格取得勉強会

いわき市内でも不足している保育士さん。当団体は、子育て支援しながら保育の勉強会を開催しています。今年10月22(土)・23(日)または、来年4月の保育士試験を受験してみたい方を募集しています。受験に必要なノウハウは、勉強会で紹介します。結果は問いません。みんなで楽しく保育の勉強をしませんか。スキルアップ・資格・福祉など多岐多岐での社会勉強にもなります。

(募集要件)  
-保育についての専門知識を習得したい、意欲ある方  
-子育て支援に関心のある方。子育てや地域貢献を考えている方  
-子育て支援や福祉、福祉関係などについて学びたい方  
-自費、短大に通学している、一緒に勉強する機会があれば  
-保育士資格があるが、プランが足りず、これから取得したい方  
-平成28年10月または平成29年4月に受験したい方(25歳以上で普通教員免許をお持ちの方)

(持ち物・準備物) 筆記用具、水筒補給料  
学習費・テキスト (各自で準備) 団体での見学・貸し出しあり

場所: いわき市総合保健福祉センター 〒973-8408 いわき市 内郷高野町 四方木181-1

日程	平成28年度	時間	内容	会場
7月10日(日)	13:30~15:30	社会的養護、小児保健 講師: 身土藤野(アトピー・アレルギー、養育)	ポラントピア室	特別支援学級 特別支援学級 特別支援学級
8月11日(木)	13:30~16:00	教育原理(編者: 山本と対策) 講師: 斎藤 康雄 大学教授	多目的ホール	特別支援学級 特別支援学級 特別支援学級
9月18日(日)	13:30~16:00	食と栄養、保育の心理学 講師: 斎藤 康雄 大学教授	多目的ホール	特別支援学級 特別支援学級 特別支援学級
9月25日(日)	13:30~16:00	食と栄養、保育実習理論 講師: 斎藤 康雄 大学教授	多目的ホール	特別支援学級 特別支援学級 特別支援学級
10月2日(日)	13:30~15:30	社会的養護、教育実践ほか グループ学習、自主学習	ポラントピア室	特別支援学級 特別支援学級 特別支援学級

\*講師の都合で予定の日時の変更がある場合は、予約の方にはご連絡いたします。 任意のキャンセル

参加申込書 FAX 0246-84-9239

TEL 080-6055-1099  
FAX 0246-84-9239

メール: sukunobi2711@gmail.com  
http://sukunobi2711.jp/

代表 前澤 由美